

図 32 福岡県飯塚医療圏の基本情報・取組概要

第7章 コーディネーターの活躍されている事例

福岡県飯塚市・嘉麻市・桂川町の事例

自治体・コーディネーターの概要

自治体概要



コーディネーター
基本情報



市町村	飯塚市	嘉麻市	桂川町	
人口*1	126,364人	35,473人	12,878人	
高齢化率*1	65歳以上:31.9% 75歳以上:15.8%	65歳以上:40.4% 75歳以上:20.4%	65歳以上:35.1% 75歳以上:16.0%	
要介護 認定率*2	1号:21.8% 2号:0.2%	1号:21.2% 2号:0.4%	1号:15.0% 2号:0.9%	
医療介護 資源状況*3	病院:20か所（うち在宅療養支援病院4か所） 診療所:127か所（うち在宅療養支援診療所23か所） 介護施設:519か所			
所属	関係団体等にコーディネーターが所属し自治体と連携			
対象自治体	複数の自治体を対象としてコーディネーターが担当			
県型保健所	人数	基幹/ 現場	常勤/ 非常勤	専従/ 非専従
看護師	1人	現場	非常勤	非専従
市町村				
医療SW 事務職	2人	基幹	非常勤（医療SW） 常勤（事務職）	非専従
医療SW 看護師	約20人	現場	常勤	非専従

実施体制



関係機関
との連携



担当部署

飯塚市高齢者支援課・嘉麻市高齢者介護課・桂川町健康福祉課

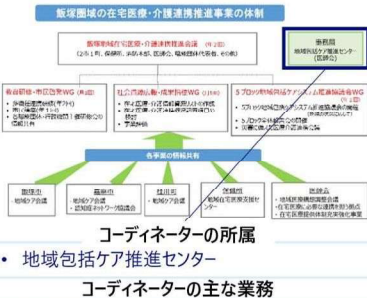
担当職員

看護師、医療SW、事務職

委託先

飯塚医師会地域包括ケア推進センター

飯塚地域の在宅医療・介護連携推進事業の体制



コーディネーターの所属

- ・地域包括ケア推進センター

コーディネーターの主な業務

- ・個別相談支援
- ・事業マネジメント
- ・地域課題解決に向けた調整支援
- ・他の関連事業との調整

*1: 令和2年国勢調査。*2: 令和2年介護保険事業状況報告 *3: JMAPより引用

出所) 嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所説明資料を基にNRI作成

図 33 福岡県飯塚医療圏におけるコーディネーターのスキル定義

第7章 コーディネーターの活躍されている事例 | 福岡県飯塚市・嘉麻市・桂川町

飯塚圏域（飯塚市・嘉麻市・桂川町）では、コーディネーターに求められるスキルを具体的に定めることで、支援の質の高い人材育成を実現している。

1 知る力

- ビジネスマナー ●関係する制度政策の理解 ●社会資源の把握 ●情報リテラシー ●住民ニーズ、現場の課題
●クライアントを捉える共通の視点としてICF（国際生活機能分類） ●ステークホルダーの関心領域、課題認識

2 考える力

- 目的及び目標を常に意識
- PDCAをまわして在宅医療介護連携の質を管理
- 地域が抱える問題をデータに基づく分析・評価
- 課題解決のシナリオを戦略的に考える

3 関わる力

- リフレクション、セルフコントロール
- 円滑なコミュニケーション推進
- 対人援助技術、面接技術
- 問題解決、課題達成スキル
- 多様なステークホルダーとの関係性強化
- 健全な根回しと忖度

4 繋げる力

- 「地域（住民）よし」「相手（関係機関よし）」「自分（所属機関）よし」の3万人よしの精神で提案・交渉

5 仕掛ける力

- リーダーシップ、プロジェクトマネジメント ●課題解決のゴールをイメージしてステークホルダーと共有
●地域課題を行政に相談・調整し、協議の場に提案



出所) 喜種・鞍手保健福祉環境事務所説明資料を基にNRI作成

図 34 福岡県飯塚医療圏における評価指標の定義

第7章 コーディネーターの活躍されている事例 | 福岡県飯塚市・嘉麻市・桂川町

飯塚圏域（飯塚市・嘉麻市・桂川町）では、地域課題・課題への対策・評価指標を体系的に整理することで、関係者の共通の課題・対応の認識を図っている。

地域課題	対策	評価指標
①在宅医療の強化	- 研修 - かかりつけ医実践道場 - 多職種連携研修会 - 講座 - ACP住民サポーター養成講座 - 会議 - 在宅医療委員会 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会	- 実在・在宅 - 在宅看取り患者数、在宅診療実患者数、在宅診療実績あり施設件数 等 - 参加・研修 - かかりつけ医道場への参加者数 - 認知・住民 - 住民のACP認知度
②入退院支援の強化	- 会議 - 地域医療連携室連絡協議会 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会 - 救急医療委員会	- 加算 - 退院患者に占める入退院支援加算等 - 救急・実績 - 拠点病院への救急車搬送受入れ件数、地域包括ケア病棟・病床の病床利用率
③医療・介護連携の強化	- 調査 - 介護福祉施設への看取りの実態調査 - 会議 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会 - 災害に備えた医療介護連携会議	- 加算 - 入時情報連携加算、退院・退所加算等 - 連携・看取り - 看取り実績あり施設件数 等 - 対策・災害 - 災害時の拠点病院の受入参加登録機関数、相談件数 等
④多職種連携の強化	- 研修 - 多職種連携研修会 - 会議 5ブロック地域包括ケアシステム推進協議会 - 調査 - 管理栄養士への在宅訪問の実態調査 - システム - 空床情報共有システムの運用	- 参加・研修 - 多職種連携研修会参加者数 - 連携・実績 - 介護支援専門員がターミナル患者への対応で連携した各職種別件数 等 - 登録・システム - システム登録者数・相談所要時間
⑤在宅医療の強化	- 講座 - 住民向け公開講座	- 転入・転出・住民 65歳以上の人口の転入・転出数 - 住民の満足度（周囲にすすめたいか）

出所）嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所説明資料を基にNRI作成

在宅医療・介護連携支援センターがつくられた背景

長寿社会化による状況の変化

受療率や認知症発生率の上昇に伴い、医療と介護の両方を必要とする方が増加

医療と介護の間における課題

それぞれを支える保険制度が異なる事等が影響し、多職種間の相互理解や情報共有が不十分

那覇市在宅医療・介護連携支援センターは、医療・介護の各関係機関に対する情報共有の支援や研修、地域資源に関する情報提供など、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的なサービスを提供できるよう推進します。

在宅医療・介護連携支援センターとは

地域の医療・介護を担う多職種の連携を推進する等、地域の皆様が、医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、在宅医療や介護サービスなど、関係機関の切れ目のない連携を実現するため、在宅医療・介護連携支援センターが設置されました。

4つの場面ごとの目指すべき姿

入退院支援	入退院において、入院医療機関と在宅医療・介護に係る機関との連携が円滑かつ適切で、質の高い情報を共有できる。
日常の療養支援	住み慣れた場所で、医療・介護が必要になった誰もが安心して適切なサポートを受けることができる。
急変時の対応	急変時において、本人の意思が尊重され、関係機関間において速やかに情報共有ができる。
看取り	住民が、人生の最終段階におけるケアの在り方や在宅の看取りへの認識と理解を深め、本人の意思が尊重され、望む場所で看取りが実施できる。

◆那覇市在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇

〒900-0034 那覇市東町26番1号(那覇市医師会2階)

TEL: 098-860-5666 (直通) FAX: 098-860-5667

月曜～金曜(土・日・祝祭日を除く)、午前8時30分～午後5時30分



ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

ちゅいしーじー那覇
医療・介護連携支援センター

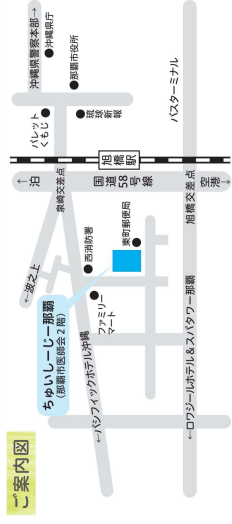
「ちゅいしーじー」とは

沖縄の方で、互いに助け合うさまを指します。医療や介護が必要となっても地域のなかで安心して過ごすことが出来るための地域全体のふれあいを意味しています。

ロゴマーク

様々な形が、交差する處から「みんなが交差している」ということを意味します。左側が医療、右側が介護。双方から中にあるひとや地域を支えているイメージです。また、色は左が市木のフクギの緑、右が市花のアザミの赤、上が空の青、下が海の青をイメージしています。

ご案内図



ちゅいしーじーで安心な
医療と介護をつなぐまち

在宅医療・介護の課題抽出と対応策の検討

在宅医療・介護の連携に関する課題について、医療・介護現場の皆様の声を聞き、共通の課題を抽出し、対応策の検討を行います。解決に向けた取り組みは、那覇市在宅医療・介護連携支援ネットワーク協議会（医療・介護関連の専門団体の代表者）、各作業部会等で開催を予定しています。

【主な取り組み】

1. 入退院支援の推進および緊急時の連携に関すること
2. 介護関連施設と医療との連携に関すること
3. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発に関すること
4. 認知症施設との連携に関すること
5. 身寄りがいない方への意思決定支援に関すること

令和6年1月末現在

1. 入退院支援の推進および緊急時の連携に関すること

地域住民がどこに入院しても質の良い入退院支援を受けられることを目標に、入退院支援に関わる各専門機関との意見交換会を開催し、「1日一あんだールール〜入退院支援連携コンセンサスブック〜」の見直し・更新を行います（①）。また、緊急時に速やかな情報共有ができるよう『緊急連携シート』を普及しています（②）。

2. 介護関連施設と医療との連携に関すること

地域住民が有料老人ホーム等の暮らしを希望した場合も、安心・安全に暮らせるよう「ちむぐくルール〜医師と行政をうまく使って使いましょ〜」の普及啓発を行っています。また、ACPの実践や終末期ケアの対応力向上を目指し出前講座を開催しています（③）。

3. 人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の普及啓発に関すること

地域住民が自らの医療やケアを選択できる文化を目指し、『在宅医療・介護サービス〜住み慣れた地域での生活をサポートする〜』を通して公民館等での出前講座、ラジオ等を通して人生会議の大切さについて発信しています（④）。

4. 認知症施設との連携に関すること

認知症になっても安心して住み慣れた地域で過ごせることを目指し、認知症関連機関と定期的な意見交換会を開催し、支援体制のネットワーク作りを行っています。

5. 身寄りがいない方への意思決定支援に関すること

独居や身寄りがなくても人生の最終段階において地域で安心して過ごせることを目指し、医療・介護関係者を対象に研修会等を開催しています。



ちゅういーじー那覇の事業報告はこちらからご覧いただけます！

医療・介護おたすけマップ

沖縄県の各市区医師会（北部地区医師会、中部地区医師会、那覇市医師会、南部地区医師会）が共同で運営しています。地域住民の皆様が医療・介護関係者が、医療機関や各種介護事業所等の情報を知り、活用できることを目的に作成しました。

お調べしたい【施設】、【地域】を選択して検索ボタンを押すだけ！
キーワード検索もできますので、是非ご利用下さい。



医療・介護おたすけマップ 検索

在宅医療・介護『スクラム塾』

那覇市の在宅医療推進のため、多職種連携研修会『在宅医療・介護スクラム塾』を年6回開催しています。

1. 那覇市における在宅医療を推進し、切れ目ない提供体制を構築するため、在宅医療に必要な基本知識を体系的に学ぶことができます。
2. 各職種間連携することにより、多職種チームビルディングの促進を図ります。
3. 在宅医療関係者同士の研修を組み合わせることにより、在宅医療の実践について学び、連携を強化します。

在宅医療・介護『スクラム塾』の開催情報、開催報告についてはQRコードのちゅういーじー那覇ホームページよりご確認ください。

『命しるべ』などを通じた出前講座

在宅医療やアドバンス・ケア・プランニング（人生会議）について、地域住民の理解が深まるよう、『命しるべ〜いのちの道標〜』や『在宅医療・介護サービス〜住み慣れた地域での生活をサポートする〜』のパンフレットを通して、那覇市地域包括支援センターや公民館等での出前講座を行っています。



市民フォーラムや講演会について

「那覇市で地域で自分らしく、よりよく生きるため」にテーマとした市民フォーラムを開催しています。在宅医療・介護の普及啓発、人生の最終段階の医療や療養場所の選択、アドバンス・ケア・プランニング（人生会議）の考え方など、元気な今だからこそ知っておきたい、語らってみたいことがあります。コロナ禍においても取り下げる時間を待つように、自前らしくしるしについても取り下げる時間を持つように、自前らしく歩むための「人生会議」をPRしていきます。市民フォーラムでの医療・介護従事者による創作劇については、YouTubeのちゅういーじー那覇チャンネルからご覧いただけます。



創作劇「ワンジユが帰る」



創作劇「天淵船（あまどうぶに）」

YouTubeチャンネルもあります！

在宅医療・介護連携に関する相談支援

ちゅういーじー那覇では、地域の医療・介護関係者、那覇市地域包括支援センター等から在宅医療・介護の連携に関する相談をお受けしています。お気軽にお問い合わせ下さい（TEL：098-860-5666）。



在宅医療同行訪問研修

訪問診療



対象者

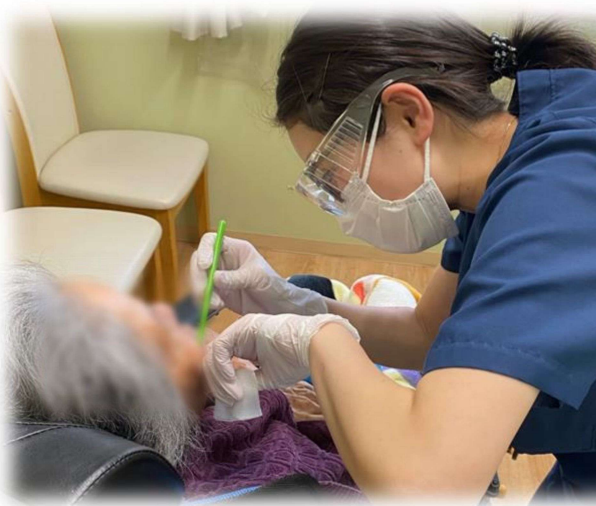
- ◆医師
- ◆看護師
- ◆介護支援専門員
- ◆地域包括支援センター職員
- ◆介護事業所職員 等

参加費
無料

◇ 実際の在宅医療の現場を経験することで、実務スキルの向上および患者のニーズに合わせたケアの提供方法を学ぶことができます。

◇ 在宅医療に関わる多職種によるチーム医療やコミュニケーションスキルを学ぶことができます。

訪問歯科



訪問看護



研修までの流れ

参加申し込み



受け入れ先のマッチング



在宅医療同行訪問研修

訪問先での物品破損など

もしもの時の“損害保険”も用意しているので安心して研修を受けられます！

※参加者は保険料の負担はありません。

在宅医療・介護スクラム塾で知識を得て、 在宅医療同行訪問で実践を学べます

目指せ
マイスター!!



下記全て
受講した者

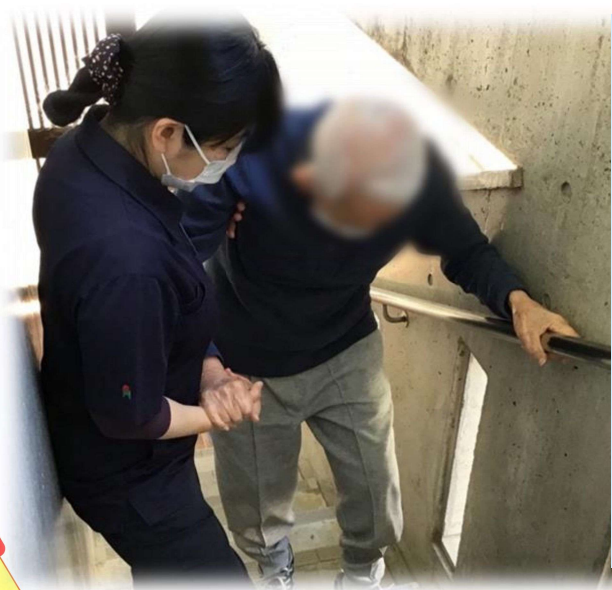
- ◆金の修了証書
- ◆マイスターの称号
- ◆修了バッジの授与

在宅医療同行訪問研修
受講者

- ◆銀の受講証明書

在宅医療・介護スクラム塾
全3回受講者

- ◆銅の受講証明書



訪問リハビリ

在宅医療同行訪問研修の
お申込みはこちらから



お申し込み内容につきましては、事務局と
受け入れ先で共有しますので、ご理解ください。

訪問
薬剤



ちゅいしーじー那覇の
ホームページはこちらから



訪問
栄養

お問い合わせ先

〒900-0034 那覇市東町26-1

那覇市医師会 在宅医療・介護連携支援センター ちゅいしーじー那覇

TEL : 098-860-5666

FAX : 098-860-5667